



先週の六送会は、スローガン「えがおいっぱい 心にのこる六送会」にむかってがんばっていました。5年生と児童会執行部が中心になって役割を立派に果たしていました。学年の出し物、壁のかざりつけにもみんなの力が発揮されて「6年生のみなさん、今までありがとう！」と感謝の気持ちが伝わってきた、すばらしい六送会でした。

きみのしせいは どれだった？

1年間のまとめの勉強をしているところです。みんなが勉強している姿をみると、いすからおしりがはみ出している人、ねこぜになっている人、いすをグラグラさせている人が気になりました。

そこで、しせいのアンケートをとることにしました。

その中で、多かったしせいは・・・

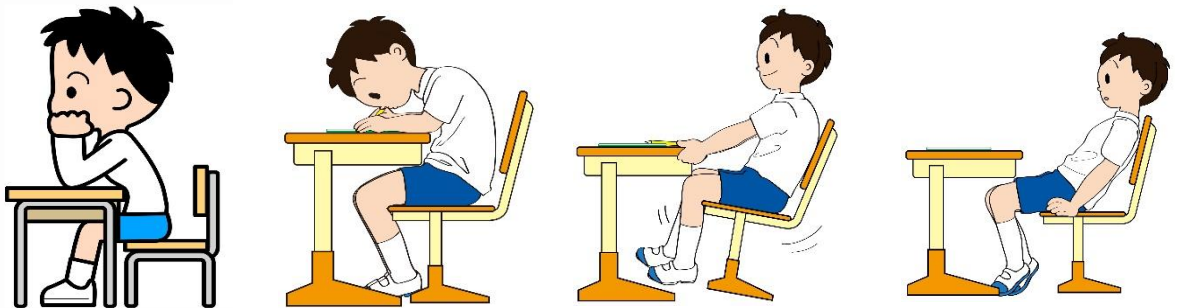
1位 ひじをつく…63人！

2位 ねこぜになって目がつくえに近い…48人！

3位 いすをグラグラゆらす…35人！

いすにもたれかかってダラーっとしていた人も21人いました。

・・・「こしのほねは、どこにあるの？」「よいしせいになるためのポイントは？」について、給食時間にテレビ放送しました。



★みんなの骨は、とてもやわらかいよ。子どものうちによりしせいを骨に覚えさせておくことがだいじだよ。

★じぶんのしせいがわかったから、なおしていこうね。

★学級で注意しあったら、よいしせいになる人がふえていくと思うよ。

しせいのポイント→こしぼねをのぼす・ジャンケン！

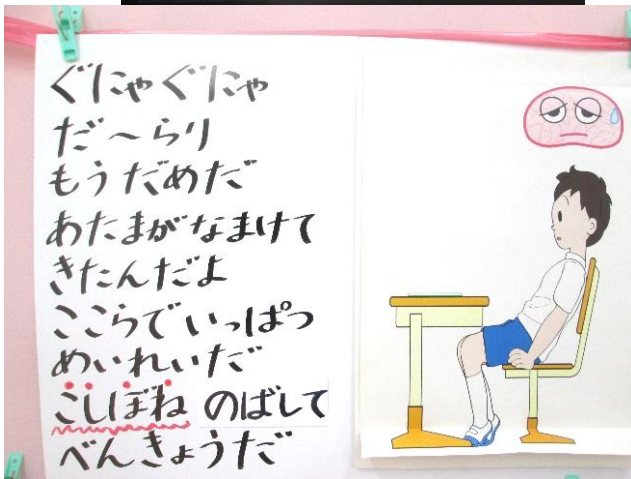
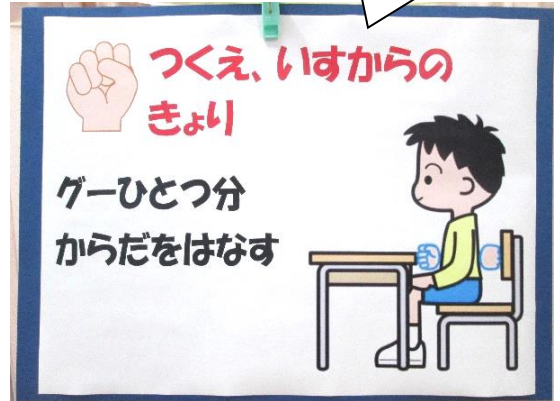
ポイント：こしぼねをのぼす

おへそは前をむく



ポイント：グーチョキパーで

すわる



「こしぼねをのぼして！ ジャンケン！」のポイントをおぼえて、しせいがグニャグニャしてきたら実行しよう。

骨を支える筋肉をきたえてたくましい体をつくることも必要です。体育や外遊び、全校10分間体力づくりのぞうきんがけリレーできたえよう。

